



1日1目標で!!

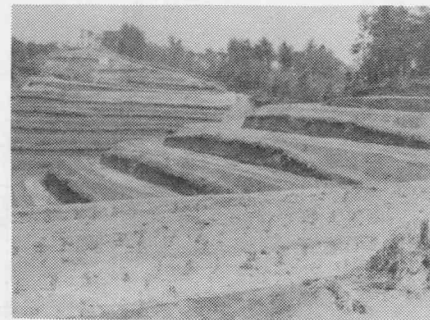
春の全国交通安全運動が5月11日から20日までの10日間実施されます。実施事項は

- 1 正しい横断の励行と横断歩道におまる歩行者保護の徹底
 - 2 こどもと老令者の交通安全の確保
 - 3 飲酒運転の追放
- の3点を重点に、1日1目標をかかげ、集中的な運動が展開されます。

ことしから、交通安全運動のスローガンとして「180万県民が手をつないで交通事故をなくそう」を決めましたので、職域、地域ぐるみで本運動に参加し、わたしたちの周辺から1人の犠牲者も出さぬよう努力しましょう。

春の交通安全運動

五月十一日
五月二十日



四年先にはこの桑園から七百万円の藩をとりあげようと、経営者達ははりきっている。

観光地にもなった

長野桑園

標高五〇〇米大森林だった、新田峠北側の国有林を開拓してできたが、長野桑園団地は総面積一ha余、桑の植付面積六、五ha、急斜面に階段式の畑が谷から谷へ続き、中ほどを通ずる道路を登ると眼下に田代町の麓川が白く目に映える、遠く鹿兒島湾、開聞岳をのぞめる景色の美しいところであり、遠足の生徒達や、ときたま自家用車で遊びにくる人達もいる。

町社協だより

次のかたがたは、それぞれ逝去されましたが、その忌明けに当り家族のかたから金一封を町の社会福祉協議会へ寄附されました。

つつしんで故人のごめい福をお祈り申し上げるとともに、ご厚意に感謝申し上げます。

宮原政道様 昨年十二月十七日逝去 一〇、〇〇〇円

湯谷常次郎様 昨年十二月十九日逝去 五、〇〇〇円

前田芳枝様 昨年十二月二十四日逝去 五、〇〇〇円

小路ツル様 本年 一月七日逝去 一〇、〇〇〇円

窪計佐吉様 本年 一月十一日逝去 五、〇〇〇円

小牧キク様 本年 一月十二日逝去 五、〇〇〇円

瀬戸口稔様 本年 一月十四日逝去 五、〇〇〇円

西田善五郎様 本年 一月十九日逝去 五、〇〇〇円

去 上温湯喜太郎様 本年 一月二十二日逝去 三、〇〇〇円

日逝去 前田フジ様 本年 二月七日逝去 一〇、〇〇〇円

鶴岡喜助様 本年 三月十六日逝去 一〇、〇〇〇円

保健所です

「こんにちは



「太陽の子運動」のリーフレット配布について
桜は葉桜、こいのぼりが空を泳ぎ、矢車が風を切って初夏の香が漂っています。

子供が元気に育つように「こいのぼり」に託された昔ながらの情感が今年から「太陽の子運動」として県民こそって推進することになりました。元気な子供を産んで元気に育てようということです。元気な子供を育てる為には食生活が大切です。

では栄養のいい食生活とは何でしょう。「魚や肉を毎日食べる」ということではありません。お金で買った物がごちそうではありません。ごちそうは心をこめた食事であり栄養のいい食生活といは



県道の改良工事の計画

町内の県道は昨年に引続き本年も次の箇所が工事計画されています。

補装工事

大根田一川原別れ間
役場前一小梅校道別れ道まで
早瀬橋一栄立間

拡張工事

只今完成している役場附近の工事に引続き一毛田橋一高校前へこれは一毛田橋の架替へ工事もありますので四五年程度までの予定

で、その後は岩崎、表木方面へ引続き工事はすめられる計画であります。

また町としては上原、花瀬間の県道の拡中工事を県の方へ陳情中でありますので、これも来年度から着工のみとおしであります。

尚大根田一田代間の大根占坂のところも、ことに引続き大根占の町に向って改良工事が行なわれる予定であります。

農免道路完通!!

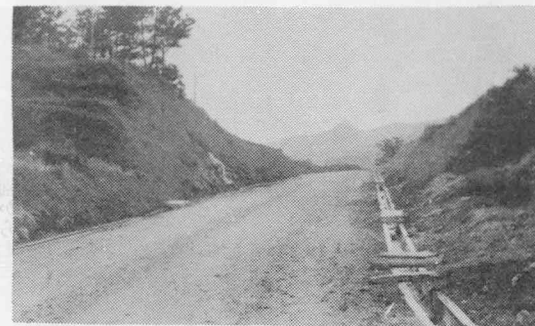
「是非補装道にしたい」

昭和40年度から約7、800万円の巨費を投じて工事をすめられていました、花瀬、新田間5、711米の農免道路は去る3月末で完通いたしました。

数年前のあの悪路に比べると本当にリツパナ道路になりました。

大原～麓間を十分に

町長は、この道路は町道として唯一の産業主幹道であるから、近きうちに舗装しなければならないと、只今の構想をねておられるようです。



『太陽国体』とは?

昭和47年に鹿兒島県で開催されます、国民体育大会は「太陽国体」と名づけられ、全国から集まる大会参加者をあたたかく迎え、鹿兒島の美しい自然とゆい緒ある伝統の中にたくましく前進しつつある郷土の姿をひろく紹介し、全国との親善を深めようという、運動をひろくおしすすめるために名づけられました。



(鹿兒島国体開催テーマ)

太陽国体

太陽はいのちの泉、平和と情熱のシンボルである。そのエネルギーは、限りない力と愛情をそそぎ、未来への創造をもたらす。南国の太陽のもと、英知と気力をつくしてくりひろげられる鹿兒島国体が、みのり豊かな国土の礎となることを願ひ太陽にその理想を求める。先人の偉業に学び、ひらけゆく未来に思いをはせつつ、この鹿兒島を太陽のように豊かで明るくたくましいものとしての次の世代につたえたい。

スローガン

万物を育てる太陽のめぐみのように——うるわしく
強烈な太陽のエネルギーのように——たくましく
万物を育てる太陽のめぐみのように——うるわしく

送金は安全で便利な

現金書留で!!

大原前の立神水田地区へ通するもみじ橋は昨年の水害で破損していましたが、工費一八一万円、福永組の請負工事でのこのほど完成しました。

現金をお送りになるときはできるだけ、現金書留郵便でお出しください、そうしますと、もし途中で紛失などで、相手に届かない場合郵政省が損害を弁償します。料金もかなり安くすみます、尚普通の手紙に現金を入れて送ることはできません、もし現金封入の普通郵便がなくなったら、弁償はしません。が不着のとりしらべはします。そのときは郵便局へ申し出て下さい。

郵便番号は必ず書いてください
田代の郵便番号 八九三一二四

新しい小組合長・婦人会長がきました。

有線放送

職名	部署名	小組合長	副小組合長	婦人会長	副婦人会長
下	西元 国彦	小椋 クリ	日置まつえ		
馬場	栗脇 末吉	山添美代喜	木佐貫かず		
東ノ原	永田 豊	折田のり子			
長谷	長谷 三男	石井原勝志			
西中郡	田中 虎一	井手 梅夫	大竹野みえ	宮原ゆり子	
東中郡	金子 貢	前田 春男	麦生田ふみ子	神田とみ子	
橋ノ口	福永 己義	中村 正美	宮園みえ		
山ノ下	福留 米吉	南園 秀吉	南園あき子	岩下 つや	
表木	折小野 六男	窪園 勲	松尾 ふみ	武田みよ子	
折小野	小梅枝 初宮	利美 上原のり子		坂元すみ子	
山ノ口	馬込十太郎	田中 重則	田中のり子	福留 裕子	
西大原	川前 正郎	野元 俊次	舞原とみ子	大原みち子	
東大原	大浦地光則	川前 次夫	寺園いくえ	山野 みか	
中尾	松下 勉	松下 和馬	横原しずか		
新田	田尻 静雄	橋口 良則	白井みや子		
内ノ牧	中野 貢	山下 稔	山下等ミツ		
重岳	細川 良幸	渡辺 三助	池田ちづ子	中村とみ子	
鶴ノ野	中島 文雄		中村みや子		
久木野	岩田 優		中村みや子		
盤山	池田 金徳	山田 栄一	基 かめ	東郷 あい	
富田	松坂 敬造	大園 三郎	永田 ふき		
平石	立富尾 末吉	山崎 満男	岩下 末子		
柴立	上柴立 正千代	安楽 学	柴田 なみ子		
上原	原伊世吉	早瀬 辰己	川辺 幸子	原沢 順子	
池野	沢 福永 義則		中村 玲子		
瀬戸	池水 孝郎		中野いそ		
猪ヶ倉	川路 秀吉		猪鹿倉あや子		
鳥淵	早瀬 富三	川前 純幸	平原あみ子		
早瀬	早瀬 時夫	早瀬 益男	小川しづ子	小川みち子	
郷ノ原	岩崎虎之助	平原 次男	白桃ふみ子	袖山なみ子	
辺志切	辺志切 時則	辺志切 清文	近川 絹子	近川きくえ	
鶴園	幸雄	倉元 栄造	舞原せつ子	舞原きぬ子	
花瀬宮行	金太郎				
大原住宅	赤崎 秀夫	杉山 重光	赤崎ともえ	杉山美智子	



すべて、他罪的な

考えになった子どもたち

家庭教育を考える

5月の納税
国保税

つぎに辛さに耐える教育について考えてみましょう。

子供達が自己の形成について考えなければならぬことは何らかの辛い思いをしなければならぬということですが、というのはその辛い思いをした上で更にそれを超えるための克服感、成功感というものを体験させるべきだと思えます。こうした克服感、成功感などの体験なくして自分のよさばかりだけを経験して大きくなることは思春期あるいはそれ以後になって非常に大きな人格のくずれをもたらすものになります。

現在の大人の育った時期は苦勞が多く辛い思いをさせられましたその反動として子供だけは辛い思いをさせたくないという考え方が親の中に非常に強くなっていると思いますが、子供の発達段階にお

は態度を養わねばなりません。また子供にはお金をかけない、つまり子供を育て、いく上で経済的限度をきちんと守ってゆくことです。今の親はどうでしょう？子供が何かほしいといえは金、何かしたいといえは金、といった具合に非常に金をつかいます。特に小遣いなどは平均以下に押えるぐらいの気持でやっていくことが必要だと思います。子供本位の生活、子供の欲求をたゞ満すことを「よく育てる」と思ってしまった面、これからは改めなくては必要だと思えます。すなわち今日ではそれぞれの家庭で両親が（子供を含めて）相談しあって決めたことはきちんと守っていくという基本的姿勢が大事だと思えます、いずれにしても立派な子供、立派な人間を育てるには立派な教育がもっとも親達の中に浸透してゆくようになってほしいものです。

以上述べましたが一つは子供の発達の段階に対する認識を深めること。一つは愛情を深めるために自分自身をよく考えること、一つは子供達が自我を確立していくために子供は子供なりに辛さを耐えるという環境をつくること。

今後の家庭の問題を考える上でこの三つの点は重要だと思えます。